

令和 6 年度水産研究所研究成果発表会について

水産研究所では「豊かな海・川の実現と魅力ある水産物の消費拡大」を目標に、水産資源の回復や養殖業の安定を図るための調査研究に取り組んでいます。その成果を広く県民に紹介するため、令和 7 年 3 月 18 日に発表会を開催したところ、漁業関係者をはじめ、大学等教育関係や企業の関係者など約 70 名のご参加をいただきました。

発表会では 4 課題の口頭発表を行い、最初の「岡山県海域における水質の長期的な変化」では、過去 50 年間の水質調査（海洋観測）における変化、水温の上昇、透明度の上昇、栄養塩(DIN)低下が起きていることについて報告しました。

続いて、「ICT 技術を活用した水温の予測技術の開発」では、いくつかのモデル式を使用して海水温の予測技術の開発を行い、最適なモデル式を使用した予測水温を水産研究所のホームページで公開していることを報告しました。

さらに、「マダコ繁殖への水温の影響」では、水温調整による産卵促進およびふ化制御技術開発を行い、飼育水を加温することで産卵を自然水温より 1 か月早めることができることなどを報告しました。

最後の「岡山県における魚道改修の取組」

では、河川で漁協が取り組む簡易魚道の設置への技術支援と効果調査を行い、アユの遡上状況が改善されたことを報告しました。

また、会場後方において「児島湾沖ノリ漁場の栄養塩動態」、「岡山県海域で実施可能なガラモ場の再生手法の検討」、「近年のサワラ資源の動向」、「ノリ養殖におけるクロダイの食害実態とその防護対策」のポスターを展示し、休憩時間等を利用して担当者から参加者に説明を行いました。

発表に関する質疑では、各成果に対して活発な議論が交わされる一方で、減少した漁獲量を回復させるために海の生産性をあげる方法の検討をしてほしいという意見がありました。

また、アンケート調査では発表課題の研究は重要で更なる成果を期待するといった意見やタコの人工種苗放流、藻場造成、貧栄養対策に関する研究要望をいただきました。

発表会にご参加いただいた皆様の意見や要望を踏まえ、本県水産業がさらに発展するよう現場の課題解決に資する調査研究を推進し今後より一層水産研究に対する理解や関心を深めていただけるよう情報発信に努めてまいります。（栽培・資源研究室 小橋）



写真 1 口頭発表状況



写真 2 会場の様子